

令和5年度 経営発達支援計画評価表

美濃商工会議所

区分	項目	事業の目標・実績	評価
I. 経営発達支援 事業の内容	1.地域の経済動向調査に関する事	年2回景況調査を実施し公表する。また、他の支援機関の景況調査の結果と比較・分析する。	A
	2.経営状況の分析及び情報提供に関する事	財務分析、内部環境・外部環境分析による経営分析を通じ今後の経営改善・発達に繋がる助言・提案を行う。	A
	3.事業計画策定支援に関する事	巡回訪問と事業計画作成セミナー、個別相談により事業計画策定の必要性や有益性を認識してもらい、事業計画策定を支援する。DX推進セミナー1回/年	A
	4.事業計画策定支援後の実施支援に関する事	巡回訪問によるフォローアップと、課題解決のためのセミナーの実施、各種支援施策を活用し、事業計画実行を支援する。	A
	5.需要動向調査に関する事	事業計画を策定した小規模事業者の商品に対して必要な需要動向を調査・分析する。 消費者需要動向調査1者/年	A
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	需要があるのに認知度不足である商品について幅広くPRする販売ツールを提供。	A
II. 地域経済の活性化に資する取組	7.地域経済の活性化に資する取組に関する事	「うだつの上がる町並み」、「美濃和紙」等を更に積極的にPRし、観光客の増加による売上向上の土壌を醸成し出店の促進を図る。また、個店の店主を知ってもらうことにより地元ファンを獲得し、「うだつの上がる町並み」に賑わいを取り戻す。	A
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	各支援機関と情報交換を行い、ノウハウの蓄積を図り、個別支援に役立てる。	A
	9.経営指導員の資質向上等に関する事	事業計画策定や実施支援に関する実践的な研修に参加し、DX推進・取組み等のスキル及び指導力を習得する。また、全職員で共有化を図る。	A
	10.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	経営発達支援計画評価委員会を新たに組織し、事業についての進捗状況及び成果・評価・見直しの方針を決定する。	A